



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月2日

上場会社名 株式会社 エヌアイデイ 上場取引所 東
 コード番号 2349 URL <http://www.nid.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小森 俊太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 馬場 常雄 TEL 03 (6221) 6811
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,620	4.5	772	2.6	855	6.0	576	6.9
29年3月期第2四半期	8,247	1.1	753	35.0	806	20.5	538	15.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 561百万円 (5.7%) 29年3月期第2四半期 531百万円 (65.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	152.23	—
29年3月期第2四半期	142.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	15,969	10,595	66.3	2,799.13
29年3月期	15,569	10,253	65.9	2,708.77

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 10,595百万円 29年3月期 10,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	58.00	58.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	53.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	1.8	1,620	△11.7	1,720	△12.6	1,190	△8.8	314.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	4,369,830株	29年3月期	4,369,830株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	584,501株	29年3月期	584,461株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	3,785,365株	29年3月期2Q	3,785,412株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、個人消費・設備投資も持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、海外においては、米国政権の政策動向や北朝鮮の政治情勢への懸念等、先行きへの不透明感が続いております。

当社グループの属する情報サービス業界においては、景気の先行きは引き続き不透明であるものの、企業のIT投資は増加傾向で推移しました。一方で、技術者の不足感は強く、人材確保の面では厳しい状況が続いております。

こうした状況の中、当社グループは、前連結会計年度より再編されたエンベデッドソリューション事業、ICTイノベーション事業、フィナンシャルシステム事業、ネットワークソリューション事業において、それぞれの事業の強みを活かしつつITの進化や市場の変化に柔軟に対応し成長が見込まれる分野に注力することで持続的成長と拡大を目指しております。

このような取組みの結果、売上面では、ネットワークソリューション事業が若干の減収となったものの、その他の4事業においては増収を確保し、売上高は8,620百万円（対前年同四半期比4.5%増）となりました。利益面では、環境変化に備えた先行投資による販管費増があったものの、ICTイノベーション事業及びフィナンシャルシステム事業並びにその他事業が増益を確保し、営業利益772百万円（同2.6%増）、経常利益855百万円（同6.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は576百万円（同6.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①エンベデッドソリューション事業

当事業では、カーエレクトロニクス、FA・制御装置等の分野の売上が増加しました。この結果、売上高は1,387百万円（対前年同四半期比8.4%増）となりました。一方で不採算案件の影響により、営業利益は37百万円（同46.9%減）となりました。

②ICTイノベーション事業

当事業では、社会インフラ、企業システム、ホームエレクトロニクス等の分野の売上・利益が増加しました。この結果、売上高は1,893百万円（同13.8%増）、営業利益161百万円（同15.4%増）となりました。

③フィナンシャルシステム事業

当事業では、生保・損保分野の売上・利益が増加しました。この結果、売上高は2,053百万円（同1.2%増）、営業利益327百万円（同17.9%増）となりました。

④ネットワークソリューション事業

当事業では、運輸、官公庁・団体等の分野の売上が増加したものの、金融・保険、製造等の分野の売上が減少しました。この結果、売上高は2,505百万円（同1.1%減）、営業利益182百万円（同20.5%減）となりました。

⑤その他

その他には、データソリューション事業、プロダクト事業、人材派遣事業を分類しておりますが、それぞれの事業で安定した売上を確保しました。この結果、売上高は780百万円（同5.3%増）、営業利益は43百万円（同86.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金並びに仕掛品の増加、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ411百万円増加し11,795百万円となりました。固定資産は有形固定資産及び無形固定資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ10百万円減少し4,174百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ400百万円増加し、15,969百万円となりました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、その他の流動負債の増加及び未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ37百万円増加し2,468百万円となりました。固定負債は退職給付に係る負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ21百万円増加し2,905百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ58百万円増加し、5,374百万円となりました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ341百万円増加し、10,595百万円となりました。

この結果、自己資本比率は66.3%（前連結会計年度末は65.9%）となりました。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,007百万円増加し、8,150百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,322百万円（前年同四半期比745百万円の収入増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益853百万円、売上債権の減少額813百万円等で資金が増加したことに対し、たな卸資産の増加額170百万円、法人税等の支払額等358百万円等で資金が減少したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は90百万円（前年同四半期比64百万円の支出減）となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入97百万円等で資金が増加したことに対し、有価証券の取得による支出100百万円、投資有価証券の取得による支出78百万円等で資金を支出したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は223百万円（前年同四半期比32百万円の支出増）となりました。これは主に、配当金の支払額219百万円等で資金を支出したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,996,807	8,005,415
受取手形及び売掛金	3,526,942	2,713,789
有価証券	207,298	307,298
仕掛品	166,296	336,633
繰延税金資産	348,107	349,175
その他	139,305	83,455
流動資産合計	11,384,757	11,795,768
固定資産		
有形固定資産	275,130	264,071
無形固定資産	119,793	103,062
投資その他の資産		
投資有価証券	2,765,807	2,770,359
繰延税金資産	599,101	605,781
差入保証金	314,893	316,683
その他	109,668	114,215
投資その他の資産合計	3,789,470	3,807,039
固定資産合計	4,184,394	4,174,172
資産合計	15,569,152	15,969,941
負債の部		
流動負債		
買掛金	441,984	424,948
未払金	299,094	308,530
未払法人税等	409,367	314,856
賞与引当金	882,485	905,493
資産除去債務	2,673	2,702
その他	395,550	512,419
流動負債合計	2,431,155	2,468,950
固定負債		
退職給付に係る負債	2,252,030	2,285,439
役員退職慰労引当金	570,075	579,750
資産除去債務	39,783	40,160
その他	22,430	—
固定負債合計	2,884,319	2,905,349
負債合計	5,315,474	5,374,300
純資産の部		
株主資本		
資本金	653,352	653,352
資本剰余金	488,675	488,675
利益剰余金	9,913,319	10,269,996
自己株式	△1,226,945	△1,227,075
株主資本合計	9,828,401	10,184,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	414,776	398,741
退職給付に係る調整累計額	10,500	11,950
その他の包括利益累計額合計	425,276	410,691
純資産合計	10,253,678	10,595,640
負債純資産合計	15,569,152	15,969,941

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	8,247,553	8,620,524
売上原価	6,582,565	6,872,368
売上総利益	1,664,988	1,748,155
販売費及び一般管理費	911,805	975,648
営業利益	753,182	772,507
営業外収益		
受取利息	1,267	1,252
受取配当金	43,938	51,074
投資有価証券売却益	—	12,320
その他	12,212	20,824
営業外収益合計	57,418	85,471
営業外費用		
支払利息	736	865
投資事業組管理料	974	575
租税公課	1,820	700
その他	111	390
営業外費用合計	3,643	2,531
経常利益	806,957	855,447
特別利益		
固定資産売却益	802	—
特別利益合計	802	—
特別損失		
投資有価証券評価損	7,196	—
固定資産除却損	801	0
和解金	—	2,264
特別損失合計	7,997	2,264
税金等調整前四半期純利益	799,763	853,183
法人税等	260,942	276,955
四半期純利益	538,820	576,228
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	538,820	576,228
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,919	△16,034
退職給付に係る調整額	652	1,450
その他の包括利益合計	△7,266	△14,584
四半期包括利益	531,553	561,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	531,553	561,643
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	799,763	853,183
減価償却費	44,439	43,391
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	46,753	35,865
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14,512	9,675
賞与引当金の増減額(△は減少)	19,618	23,008
受取利息及び受取配当金	△45,205	△52,326
支払利息	736	865
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△12,320
投資有価証券評価損益(△は益)	7,196	—
売上債権の増減額(△は増加)	297,562	813,152
たな卸資産の増減額(△は増加)	△262,399	△170,012
その他の流動資産の増減額(△は増加)	70,962	24,081
仕入債務の増減額(△は減少)	△32,256	△17,036
未払金の増減額(△は減少)	△58,493	9,121
未払消費税等の増減額(△は減少)	△45,171	△52,868
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△891	133,442
その他	5,470	△6,101
小計	862,595	1,635,121
利息及び配当金の受取額	43,725	46,771
利息の支払額	△736	△865
法人税等の支払額	△329,484	△358,939
営業活動によるキャッシュ・フロー	576,099	1,322,088
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△100,000
投資有価証券の取得による支出	△298,445	△78,772
投資有価証券の売却及び償還による収入	203,000	97,395
有形固定資産の取得による支出	△19,182	△13,309
有形固定資産の売却による収入	885	—
無形固定資産の取得による支出	△21,664	△2,267
差入保証金の差入による支出	△23,174	△1,927
差入保証金の回収による収入	250	138
投資事業組合からの分配による収入	7,754	12,872
その他	△4,644	△4,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155,221	△90,514
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	390,000	440,000
短期借入金の返済による支出	△390,000	△440,000
配当金の支払額	△188,791	△219,018
自己株式の取得による支出	—	△129
その他	△2,757	△4,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191,549	△223,761
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	229,328	1,007,811
現金及び現金同等物の期首残高	6,474,172	7,142,287
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,703,501	8,150,098

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	エンベデッドソリューション事業	ICTイノベーション事業	フィナンシャルシステム事業	ネットワークソリューション事業	その他	
売上高						
外部顧客への売上高	1,280,041	1,663,585	2,029,805	2,532,564	741,555	8,247,553
セグメント間の内部売上高又は振替高	146,623	38,287	117,873	35,355	359,403	697,544
計	1,426,665	1,701,872	2,147,679	2,567,920	1,100,959	8,945,097
セグメント利益	69,947	140,140	277,972	229,663	23,217	740,941

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	740,941
セグメント間取引消去	2,589
全社費用(注)	10,480
その他	△829
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	753,182

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	エンベデッドソリューション事業	ICTイノベーション事業	フィナンシャルシステム事業	ネットワークソリューション事業	その他	
売上高						
外部顧客への売上高	1,387,317	1,893,133	2,053,799	2,505,333	780,941	8,620,524
セグメント間の内部売上高又は振替高	81,214	51,925	142,833	25,777	372,134	673,885
計	1,468,531	1,945,058	2,196,632	2,531,110	1,153,076	9,294,410
セグメント利益	37,133	161,711	327,816	182,561	43,393	752,617

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	752,617
セグメント間取引消去	2,660
全社費用(注)	20,357
その他	△3,127
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	772,507

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。